



2月の平日夜間・休日診療のご案内



●平日夜間診療・休日夜間診療のお問合せは、下記へお問合せください。

海部南部消防署 ☎52-0119

救急医療情報センター ☎26-1133

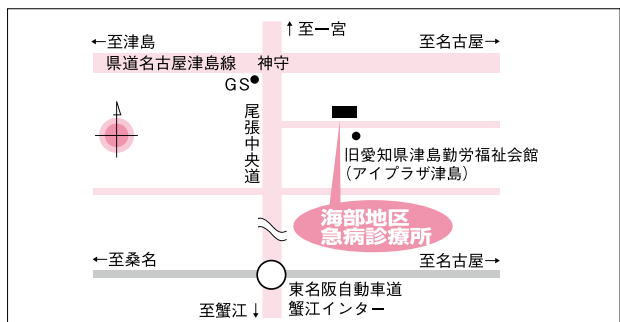
海部地区急病診療所 ☎25-5210

海部地区急病診療所 津島市荻原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内科 小児科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後1時～4時30分
歯科	日曜・祝日	午前9時～11時30分 午後2時～4時30分

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>

診療の詳細は、村公式ホームページ等でお知らせしています。なお、事前に電話で確認して受診するようにしてください。



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

くすり安心電話

- 内容 くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～深夜0時

休日の診療は以下のとおりです。

<外科>は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。

<内科>は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療(外科) 午後5時以降は消防署へお尋ねください。専門外の患者さんは、お断りする場合があります。			
診療時間 日曜日・祝日 午前9時～午後5時			
5(日)	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
11(土・祝)	脳神経外科のぞみクリニック	052-443-5533	あま市
12(日)	奥村整形外科	052-445-5667	大治町
19(日)	つつみ整形外科	97-0223	蟹江町
23(木・祝)	はせ川外科	24-3370	津島市
26(日)	彦坂外科	25-8355	津島市
3月			
5(日)	奥村クリニック	22-2600	津島市
12(日)	服部整形外科皮膚科	65-1200	弥富市
19(日)	こじま整形外科	25-9911	愛西市

とびしまほっと安心ダイヤル～健康、医療、子育て等～

☎0120-501-970(24時間対応)

無線放送内容を確認できる音声自動応答サービスについて

同報無線で放送した内容は、次の番号へお電話いただくことで確認できます。聞き逃したとき、聞き取りにくかったときなどにご活用ください。※混み合っている場合には通話中となることがあります。

☎0567-52-1451

携帯電話または県外から利用する場合はこちらをご利用ください。※通話料がかかります。

☎0800-200-5656

県内の固定電話からのみ利用可能 ※通話料は無料です。

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

録音

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

(X X X)

再生

今後過度に恐れることなく、**口腔ケア**もして感染対策をしましょう。

(海部歯科医師会)

実験には、新型コロナウイルスとして最初に同定された武漢型を使用し、菌磨き時に唾液で希釈されることを想定して3倍希釈した菌磨剤をウイルス液と混合し、一定時間反応させた後に、どの程度影響があるかを調べています。なお菌磨剤としては、SDS含有の菌磨剤を使用し、その結果、99.99%以上のウイルスの不活化が認められています。

これらの実験は、ウイルス感染対策としての口腔ケアの有用性を示すものと考えられます。

さて、新型コロナウイルスは洗浄剤にも含まれる界面活性剤がウイルス表面の脂質二重膜構造を破壊することにより不活化されることが知られています。

同様に一般的な歯磨剤にも、発泡剤として、ラウリル硫酸ナトリウム(SDS)などの界面活性剤が含まれています。歯磨剤中の界面活性剤により、ウイルスが不活化され、その結果、他者への感染リスクが低減できるという実験結果があります。

新型コロナウイルス感染症については、手洗い・消毒による手指衛生やマスクの着用等が感染予防に重要であるという認識は、かなり定着してきました。また、最近ではウイルス感染対策として**口腔ケア**にも関心が高まっています。

歯の健康講座
その486